

## 第26回全日本クラブ野球選手権大会展望

# 「企業キラー」の大和高田が

# 一歩リード

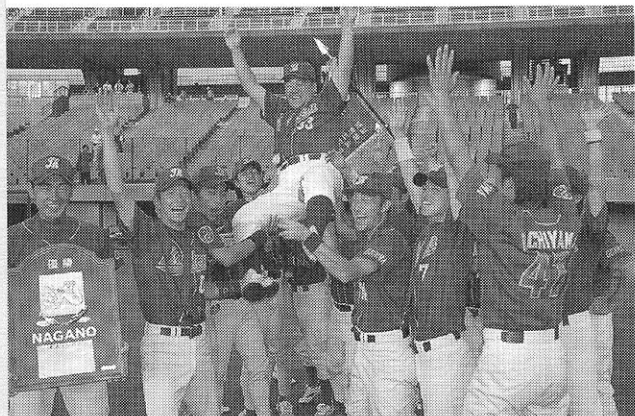
第26回全日本クラブ野球選手権大会は8月28日から4日間、西武ドームで開催される。参加チームはこれまでの13チームから北信越、近畿地区で各1チーム増えて計15チームとなった。大会の話題と優勝争いを展望したい。(リポート／二階堂昭雄)

現在、日本野球連盟に加盟するクラブ登録のチーム数は230。全体のチーム数増加と地域的なバランスから2チームを増やした。初出場は秋田ユース

ドクラブだけで、大阪ベシエンスクラブは11年ぶり。連続出場は5年連続の久慈クラブ、全足利クラブなど5チーム。優勝争いは例年になく混戦模様

### ◇第26回全日本クラブ野球選手権組み合わせ◇

31日 9:00	31日 14:00	31日 11:00	31日 16:00
28日 9:00	28日 14:00	29日 11:00	29日 16:00
30日 8:30	30日 13:30	30日 13:30	30日 16:00
28日 11:30	28日 11:00	29日 8:00	29日 8:00
久慈クラブ(岩手・東北)	水沢駒形野球倶楽部(岩手・東北)	防府クラブ(山口・中国四国九州)	新潟クラブ野球団(新潟・北信越)
全足利クラブ(栃木・関東)	新潟ミズマシヤル倶楽部(新潟・北信越)	かみかわ野球クラブ(埼玉・関東)	大和高田クラブ(奈良・近畿三重)
全弘前倶楽部(青森・東北)	全日立ドリムズ(茨城・関東)	秋田ユース(秋田・東北)	ウイン北広島(北海道)
大阪ベシエンスクラブ(大阪・近畿三重)	全府中野球倶楽部(東京・関東)	静岡硬式野球倶楽部(静岡・東海)	久慈クラブ(岩手・東北)
水沢駒形野球倶楽部(岩手・東北)	防府クラブ(山口・中国四国九州)	新潟クラブ野球団(新潟・北信越)	全足利クラブ(栃木・関東)
新潟ミズマシヤル倶楽部(新潟・北信越)	かみかわ野球クラブ(埼玉・関東)	大和高田クラブ(奈良・近畿三重)	全弘前倶楽部(青森・東北)
全日立ドリムズ(茨城・関東)	秋田ユース(秋田・東北)	ウイン北広島(北海道)	



長野オリンピックスタジアムで行われた昨年は、全伊勢崎硬式クラブ(群馬)が2度目の頂点に立った©URP

様が、都市対抗野球予選で企業チーム相手に善戦健闘した大和高田クラブの評価が高い。

同クラブは都市対抗野球二次予選に出場し、島津製作所を5対3、ミキハウスを6対3、三菱自動車京都を3対2で下し旋風を巻き起こした。最後は日本IBMに6対8で敗れ力尽きたが、投打にわたり戦力の充実ぶ

りが目立っている。山下、小林、嘉戸に川崎製鉄千葉から移った木挽ら投手陣のコマが豊富

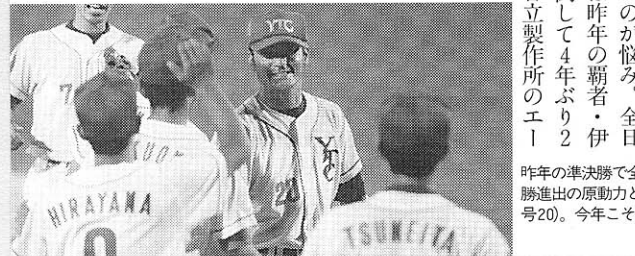
3回目の出場だった昨年は決勝で全伊勢崎硬式クラブに2対9で敗退しており、初優勝に照準を合わせている。

大和高田クラブに迫るのは全足利クラブ、水沢駒形倶楽部、全日立ドリムズか。全足利クラブ

は最多の9回優勝を誇る古豪。都市対抗出場の経験を持ち、小倉恒(現オリックス)を生んでいる。一時に比べ選手層は薄くなったが、全員野球で第22回大会以来4年ぶり10回目の優勝を狙う。

水沢駒形倶楽部は昨年、一昨年ともベスト4に進出しており地方がある。新田小野寺両投手が軸になるが、例年、勤務との関係でフルメン

新人の加入で活気のあるウイン北広島や市長が部長を務める久慈クラブにもチャンスはある。



## WEEKLY CHECK POINT

### 強化に向けた新人事を発表!

西濃運輸は8月1日付で比嘉康哲監督に代えて小森茂コーチ兼捕手を新監督に起用した。小森監督は大垣商から入社、都市対抗野球に10年連続出場を果たすなど、強打の大型捕手として活躍した。3年前からコーチ兼任となっていたが、今年の都市対抗野球でもマスクをかぶった。比嘉監督は4季にわたり監督を

務めた。また、NTT西日本も北川良監督が退任、村本忠秀コーチが新監督に就任した。村本監督は富山の高岡第一高から駒大を経てNTT関西(当時)に入社。捕手として活躍のあと、98年にNTT関西の監督に就任。NTTの再編成にともない、いったんはコーチになっていた。

昨年の準決勝で全足利クラブを1点に抑え(対決)、決勝進出の原動力となった大和高田クラブの山下(背番号20)。今年こそ優勝を狙う意気込みだ©URP